

ふしみさらダボール子育て情報



「好奇心からの学び」

令和6年6月19日号

板橋富士見幼稚園



大人に見えない子どもの気づき

大人は、生活体験を繰り返し経験した知識を基に、新たな法則性を導き新しい未来を創造していきます。その一方で子ども達は、毎日遊びの中で大人には見えない小さな世界を見つめ、様々な角度から心弾ませ近づいて、その不思議さに遭遇することになるのです。このときめく心を「好奇心」と言います。大人になると、好奇心と遭遇する機会が少なくなり、日々の慌ただしさの中で見過ごしてしまうことが多いようです。

ある親子のいつもの通り道、立ち止まった子どもが「ママ見て、きれい」と、道路の片隅のたまった水たまりに顔を映し、不思議そうに何度も首をかしげている様子がありました。母親が「ねえ、何をめているの？」と問いかけると、「虹」と応えたそうです。そこで傍にしゃがみ込み、首をふりながら水たまりを見てみると、やっと虹の輪にたどり着きました。「ほんとだ、きれいね」と共感したそうです。小さな水たまりに、自動車の廃油が飛び散り、その油が美しい虹を描いていたのです。他愛もない出来事のように見えますが、子どもにとっては好奇心満載の出会いなのです。

このような気づきは、特に子どもの高さと地面との距離間も重要で、一瞬の通りがかりに発見し、好奇心を掻き立てられ、そしてじっと見つめて「なぜ？」と探究心が芽生えるのです。いつも通っている道なのに、今日はどうして立ち止まり気づいたのでしょうか。

子どもが立ち止まった時は、何かが起こるサインかもしれません。

【アンズの収穫祭】



たくさん実ったアンズを使ってからジャムづくりが始まりました。みんなでホールに集まり今までの収穫や関わりを振り返りました。美味しいジャムを目指し今日から3日間、みんなで収穫祭を楽しみます。

